

事業概況 (平成25年度)

平成25年度の当会の事業につきましては、府内JAをはじめ地域のみなさまのご協力のもと、事業収益は10,044百万円（前年対比+796百万円）、経常利益は2,756百万円（前年対比+366百万円）、当期剰余金は2,066百万円（前年対比+269百万円）を計上しました。

以下につきましては、各業務部門の報告です。

■ 金融推進業務

1. JA信用事業強化に向けた取り組み

JAバンク京都中期戦略（平成25年度～27年度）の初年度として、平成25年度JAバンク京都実践方策に掲げた基本目標の実現と経営数値目標の達成に向けて取り組みました。

事業量拡大のため、府内統一キャンペーンによる個人貯金の増強や年金振込口座拡大を継続的に図るとともに、JAバンクローンの残高伸長にも積極的に取り組みました。

府内JA貯金残高は、12,295億円（前年対比+2.8%）、貸出金残高は2,275億円（前年対比△0.3%）となりました。

2. 信頼されるJAバンク京都の確立

JAバンク基本方針に基づく財務・体制整備モニタリングを実施し、JAの経営状況・業務執行状況を点検・確認するとともに、京都府・中央会主催のJA支店長向け事務リスク管理研修会において、事務手続を踏まえた事務処理の徹底、渉外担当者の行動管理の徹底等、不祥事の未然防止に取り組みました。

■ 貯金業務

JA預り金の増加および員外貯金の獲得により、貯金残高は、1兆327億円（前年対比+6.0%）となりました。

また、貯金奨励金を50億円支払い、安定還元に努めました。



■ 融資業務

農業融資については、JA・融資支援チームとの連携によりメイン強化先等農業者への資金ニーズに適切に対応し、融資残高の伸長に努めた結果、日本公庫資金を含め69件、375百万円を実行しました。

件数では期首を上回ったものの繰上償還等があり、米代金による当座貸越を除く期末残高は2,764百万円（前年対比△0.6%）となりました。

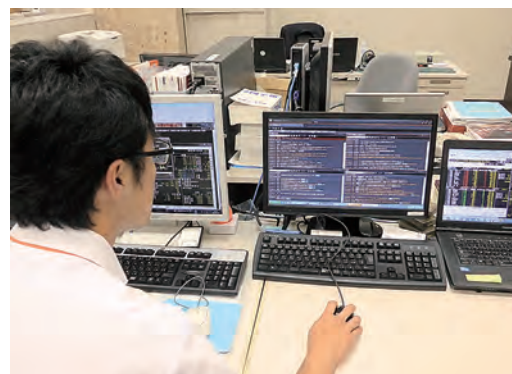
事業資金については、地元企業、上場企業を中心に営業活動を行い、取引拡大に努めた結果、期末残高は791億円（前年対比+0.6%）となりました。

■ 余裕金運用業務

短期資金については、系統預金を中心に流動性を確保しつつ買入金銭債権を倍増するなど効率運用に努めました。JAのキャンペーンによる個人貯金の積み上げと企業等からの預け入れもあって、期末の預け金残高は6,392億円（前年対比+7.3%）となりました。

有価証券については、流動性のある国債の残高積み増しを図るとともに、信用スプレッドを享受するため銘柄選別のうえ社債を取得しました。一方、低クーポンで発行された金融債については市場動向を勘案し、一部売却しました。

この結果、期末の有価証券残高は2,700億円（前年対比+2.5%）となりました。



■ 為替決済業務

国庫金振込事務検査を実施するとともに、為替実務研修会、国庫金振込事務取扱説明会および現金事務取扱説明会を開催し適正な事務処理の周知に努めました。

また、でんさいネットサービスの平成27年4月取扱開始に向け、(株)全銀電子債権ネットワーク（でんさいネット）へ加盟申請を行い、承認されました。

なお、府内全体の為替取扱高（仕向・被仕向）は、2兆8,800億円（前年対比+190%）、手形交換取扱高（持出・持帰）は968億円（前年対比+76%）となりました。